

令和 4 年 アユの遡上状況について (解禁前情報)

6 月 1 日に多くの県内河川でアユ釣りが解禁となります。茨城県水産試験場内水面支場では、県内河川のうち久慈川堅磐堰 (河口から約 8 km) と那珂川千代橋 (河口から約 30 km) を調査定点とし、久慈川漁業協同組合および那珂川漁業協同組合とともに、2 月からアユの遡上調査を実施しました。この結果を以下のとおりまとめましたので、解禁前情報としてお知らせします。

1 アユの遡上状況

(1) 遡上初確認日について

調査定点での遡上初確認日は、久慈川で 2 月 24 日、那珂川で 3 月 15 日でした (表)。

表 茨城県水産試験場内水面支場の調査による遡上初確認日と平均全長

年	久慈川 (堅磐堰)		那珂川 (千代橋)	
	月日	平均全長 (mm)	月日	平均全長 (mm)
令和 4 年	2 月 24 日	70.7	3 月 15 日	79.0
令和 3 年	3 月 17 日	78.7	3 月 17 日	82.4
令和 2 年	3 月 3 日	69.0	3 月 13 日	80.6
平成 31 年	3 月 5 日	71.1	3 月 19 日	86.1
平成 30 年	3 月 14 日	85.0	3 月 20 日	83.5
平成 29 年	3 月 21 日	74.9	3 月 13 日	84.7
平成 28 年	2 月 23 日	86.2	3 月 23 日	81.1
平成 27 年	2 月 25 日	70.2	3 月 31 日	77.4
平成 26 年	3 月 25 日	89.4	4 月 2 日	87.0
平成 25 年	3 月 15 日	84.8	3 月 25 日	82.7



久慈川 (2 月 24 日)



那珂川 (3 月 15 日)

図 1 今年度の調査で初採捕された遡上アユ

(2) 遡上アユの採捕尾数の推移 (投網 10 投あたりに換算した採捕尾数の推移)

久慈川： 3 月中旬から 3 月下旬にかけては過去平均値 (H17-R3) をやや上回る水準で推移し、4 月中旬から 4 月下旬に平均値を大きく上回り、遡上のピークとなりました。その後、5 月中旬は平均値を下回ったものの、5 月下旬には平均値並みの遡上がみられました (図 2)。全体として今年の遡上量は、昨年よりも多く、平均値と同程度だったと考えられます。

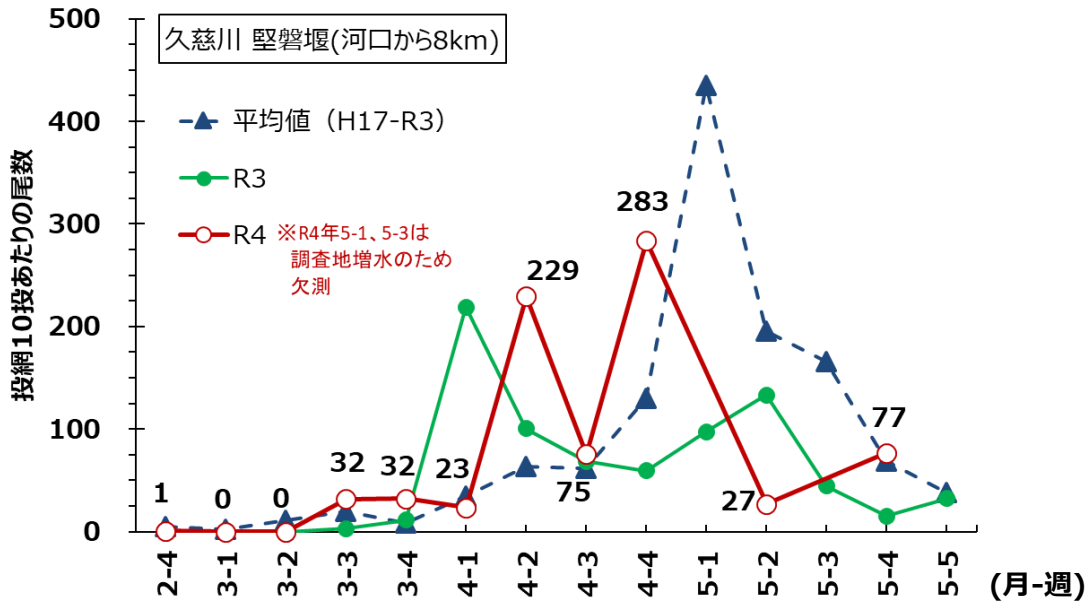


図 2 久慈川堅磐堰でのアユ遡上状況

那珂川： 3 月から 4 月にかけては過去平均値 (H17-R3) とほぼ同水準で推移しましたが、ピークとなった 5 月第 1 週においては平均値を大きく上回り、シーズンを通して遡上のピークとなりました。5 月中旬は平均値をやや下回り、5 月下旬以降は、平均値と同程度でした (図 3)。全体として今年の遡上量は、昨年よりも少なく、平均値よりやや多かったと考えられます。

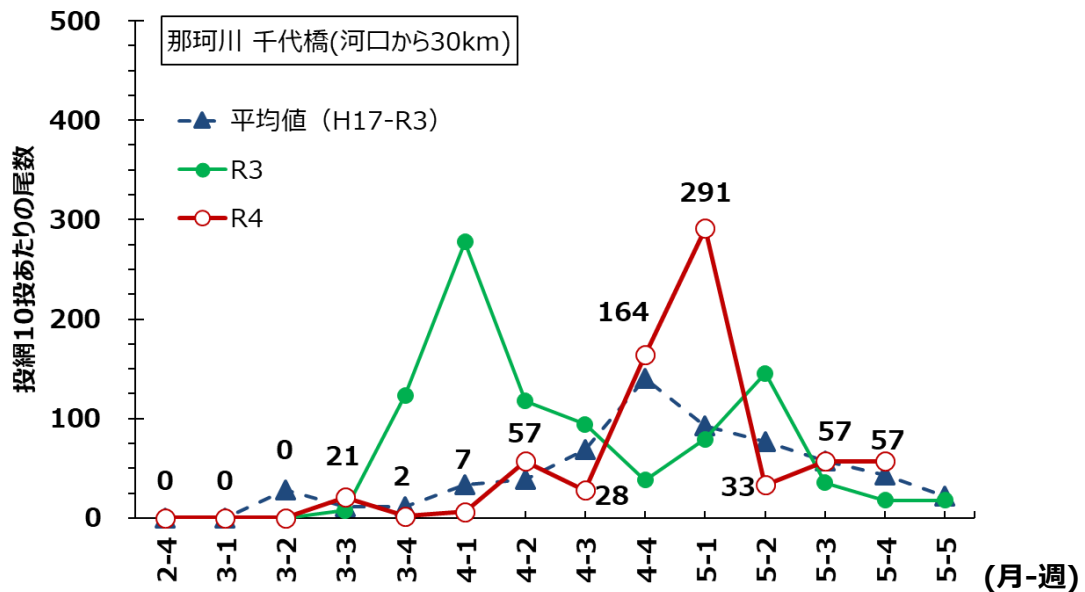


図 3 那珂川千代橋でのアユ遡上状況

2. 漁協の聞き取り結果

(1) 久慈川： 本年は、稚アユ遡上初確認日から順調に遡上が確認されています。昨年10月に実施したアユ産卵場造成では、約3億粒もの産卵を確認できました。ここ数年は秋季の自主禁漁や産卵場造成といった資源保護・増殖手法の改善に積極的に取り組み、例年通り遡上が確認されています。

好釣果を期待するとともに、本年も新型コロナウイルス感染症対策をしたうえで釣行いただけると幸いです

(2) 那珂川： 今年の初遡上は、ここ数年に比べやや早い3月15日に確認されました。遡上のピークは5月上旬にあり、平均の遡上量を大きく上回りました。結果として、期間を通して平均を上回る遡上があったと考えられます。

シーズン中の釣れ具合は、天候や川の水量にも左右されますが、8年前から取り組んでいる産卵場造成等の効果が出て、多くのアユの姿が見られることを期待します。

【参考】河川水温の推移

久慈川・那珂川の調査定点における水温は以下のとおりでした（図4）。

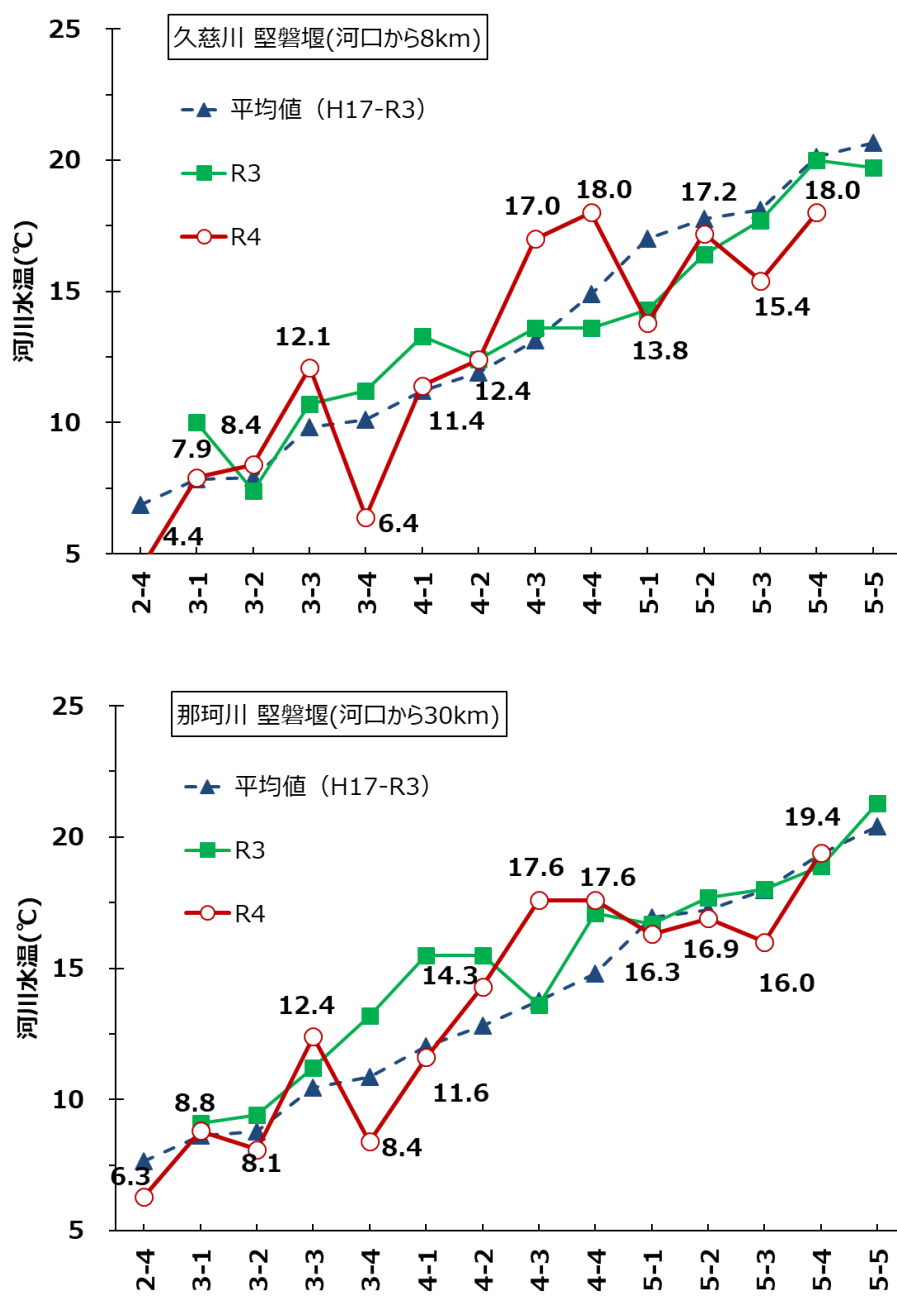


図4 調査定点における河川水温の推移
 (上：久慈川堅磐堰、下：那珂川千代橋)